



生徒会七夕企画
最も多かった願い事は、
「頭がよくなりますように」

校訓「己を識り 能を研く」

教育目標「知の研鑽・清澄な心・壮健な体」

文責：菅原（理）

県中総体東中生の輝き

【バドミントン部～熊谷心羽・佐藤梨心・菅原麻由・阿部琳音・小野寺陽葵・佐藤梓颯】

〈女子団体戦〉1 回戦 対花巻シャトルクラブ 2-0 勝利

2 回戦 対 KBF 1-2 惜敗

岩手県ベスト 16

〈女子個人戦（ダブルス）〉熊谷心羽・小野寺陽葵ペア

1 回戦 対大槌学園 2-0 勝利

2 回戦 対久慈中 1-2 勝利 1・2 年生ながら

3 回戦 対 club ap 1-2 惜敗 **岩手県ベスト 8**

【陸上競技（特設陸上）】…両名とも自己ベスト更新！

〈1 年男子 100M〉橋本旺河 12 秒 08 **岩手県 2 位**

〈共通男子走高跳〉片桐清翔 1m50 **岩手県 10 位**

【バレーボール競技（男子）：いわいクラブファイターズ】

小山昂・小山晟 1 回戦 対見前南 0-2 惜敗

【バレーボール競技（女子）：BLAISE 一関】

菊池倅歩・小野寺結愛 1 回戦 対上野 2-1 勝利

2 回戦 対不知火 1-2 惜敗

【ソフトテニス競技（男子）：一関協会～阿部輝大・青山結登】

〈団体戦〉1 回戦 対金ヶ崎 3-0 勝利

2 回戦 対新里 2-1 勝利

3 回戦 対宮野目 2-1 勝利

決勝リーグ 2 勝 1 敗 **岩手県 2 位**

〈個人戦〉阿部輝大・他校生ペア 4 回戦惜敗

岩手県第 5 代表 東北大会出場

【ソフトテニス競技（女子）：一関協会

～菅野颯希・川島小花・白鳥結羅・佐藤世明】

〈団体戦〉1 回戦 対見前 3-0 勝利

2 回戦 対松尾 2-1 勝利 **岩手県**

3 回戦 対胆沢 2-1 惜敗 **ベスト 8**

〈個人戦〉菅野颯希・他校生ペア 2 回戦 惜敗

佐藤世明・他校生ペア 3 回戦 惜敗

川島小花・白鳥結羅ペア 1 回戦 惜敗

県下の強豪相手に善戦！ 挑戦し、全力を尽くした 岩手県中総体

一関地方大会を経て県大会への出場切符を得た本校生徒たち。7 月 18 日（土）に始まった岩手県中総体にてそれぞれの種目に挑戦し、県下の強豪相手に力を発揮してきました。

「頑張った人は、頑張った分だけいい思いをする」… 2 年前から東中生に繰り返し話している言葉です。「いい思い」とは何か？…それは「試合結果」「上位入賞/表彰」かもしれません。「自己肯定感や自信」かもしれませんし「次へのステップ」かもしれません。或いは「実力がうまく発揮できなかった悔しさ・ふがいなさ」「練習に対する自己の姿勢の振り返り」かもしれませんし、「支え指導してくださった方の存在に対する感謝の心」かもしれません…。いずれにせよ、**「本気」で取り組んだ経験は、これからの人生にとって大きな気づきとなり、マイナスをもプラスに変える力**にもなります。

「本気の取組」は、楽しいことばかりではありません。むしろ、自分自身と正面から向き合う難しさや逃れられない苦しさとの闘いです。だからこそ、日々の生活の中での生徒による**「自己決定」「本気の挑戦・調整」「本気の振り返り」**を大切にしたいし、その経験を繰り返し積み重ねていくことで、「長い人生、これから歩んでいく道を選択する上での指針」となる学びとしてほしい、そう願っています。

次の目標に向け視野を広げ頑張れ！東中生！！

よろしく
お願いします

「教育についてのアンケート」保護者版

先日、「まなびポケットの連絡帳」及び「配布物（プリント）」にて、令和 8 年度第 1 回「教育についてのアンケート（保護者版）」へのご協力をお願いしました。生徒の成長を支える教育をより充実させるため、「生徒の健全育成の両輪」である「学校教育」と「家庭教育」について**4 月から現在までを振り返り、今後の教育活動に生かすことを目的**としています。本年度は紙媒体のみで行います。お忙しい中ですが、ご回答いただきますようお願いいたします。 締切 **7 月 23 日（木）**

災害復興 学習

2年生～岩手宮城内陸地震の現場へ



本年度本校では教育課程を改めて見直し、ふるさと一関・岩手に関わる現地での災害学習を取り入れています。我が国日本は豊かな自然に恵まれ、その分自然災害も多い国でもあります。「天災は忘れた頃にやってくる」とは物理学者寺田寅彦の言葉ですが、いつ私たちが被害の当事者になるかわかりません。そこで、**1年生は一関の水害（カスリン・アイオン台風、一関遊水地等）、2年生は一関を震源とする地震（岩手・宮城内陸地震等）、3年生は地震と津波（東日本大震災）**について、実際に現地でフィールドワークをすることにしました。

先陣を切ったのは2年生。7月1日（水）市内祭時にて、地震により凸凹になって寸断された道路や折れた橋を実際に見、巖美町の方々から被災状況や当時の生活の様子と支え合い、復興復旧の道のりなどの話を聞きました。生徒からは「実際に行って良かった。これまで自分がこの地震について知らなかったことに驚いた。」という声が聞かれました。まさに「灯台下暗し」「百聞は一見に如かず」ですね！2学期には1・3年生がフィールドワークを行います。



R8・3年全国学調結果

4月に行われた全国学力・学習状況調査の結果が発表されました。全国の中学3年生を対象とした「国・数・英の学力調査」と、「学習・生活環境に関する質問紙調査」により生徒の実態を把握するものです。以下、結果概要です。

まず学力について。正答率でみると、**国語は全国・県平均と同等、数学は全国同等県平均を上回っています。英語は全国・県平均を共に下回っており、苦手意識の克服が課題**です。

質問紙調査（右参照）では、「授業で学んだことを学習や実生活に生かすことができる」「地域や社会をよくするために何かしてみたい」等の項目で肯定回答が全国・県平均を上回り前向きさや希望が読み取れる一方で、「自己有用感」にかかわる項目の肯定回答が低いのが気になるところです。この調査後、**様々な行事や活動に挑戦し大きく変わってきている3年生、自信を持って!!自分達を認めてあげて！ただ、生活習慣は見直しが必要です。（生活習慣が考え方に与える影響は、実はとても大きいのですよ…）**

この結果を元に、教育活動のさらなる充実に努めてまいります。ご家庭のご理解ご協力をよろしくお願いします。

【3年生★ 質問紙調査から見てきたこと】

○肯定回答が全国・県平均を上回る項目

- ・授業で学んだことを次の学習や実生活に結び付けて考えたり生かしたりすることができる
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたい
- ・学級の生活をよくするために学級で話し合い互いの意見の良さを生かして解決方法を決めている

○課題(全国・県平均を下回る項目)

- ・生活習慣
 - 「朝食を毎日食べている」
 - 「SNS・動画視聴、ゲーム等の時間」
→全国・県平均と比較してとても長いです
 - 「学校の勉強について親・家族があなたと話す時間」
- ・自己有用感・心理的安全性
 - 「自分には良い所がある」
 - 「将来の夢や希望を持っている」
 - 「人の役に立つ人間になりたい」
 - 「普通の生活で幸せな気持ちになる」